小児・若年成人患者における長期留置型中心静脈カテーテルの挿入と管理方法に関する研究

2014 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までに長期留置型中心静脈カテーテルを用い病気の治療を受けた　患者さん

研究協力のお願い

当科では「小児・若年成人患者における長期留置型中心静脈カテーテルの挿入と管理方法に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2014 年 1 月 1 日より 2021 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院小児科・心臓血管外科にて、血液・腫瘍性疾患、心疾患のために長期留置型中心静脈カテーテルを挿入し、加療を受けられた患者さんのカテーテルに関連する感染や事故抜去、破損の実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。**この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。**

（１）研究の概要について

研究課題名：小児・若年成人患者における長期留置型中心静脈カテーテルの挿入と管理方法に関する研究
研究期間：研究実施許可日～2024 年 3 月 31 日
研究責任者：日本医科大学付属病院　心臓血管外科　佐々木　孝

（２）研究の意義、目的について

長期留置型中心静脈カテーテルに関連する感染症やカテーテルの事故抜去、破損等の合併症が発生する頻度を調べ、その考え得る要因を明らかにすることを目的といたします。

（３）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2014 年 1 月 1 日より 2021 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院小児科・心臓血管外科にて、血液・腫瘍性疾患や心疾患に対し長期留置型中心静脈カテーテルを挿入し加療を受けられた患者さんの病歴から、カテーテルに関連する感染、事故抜去、破損等の合併症の発生頻度とそれらに対するリスクファクターの検討を行います。
この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。
試料：なし
情報：年齢、性別、疾患名、血液検査、カテーテル挿入部位・方法、カテーテルの種類、抗菌薬使用の有無、細菌検査結果、挿入期間、抜去の原因、患者さんの転帰等

（４）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（５）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

（６）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院　心臓血管外科　准教授　佐々木　孝
〒113-8603　東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表）　内線：24653
メールアドレス：t-sasaki0@nms.ac.jp